



題字 大谷妙子会長

2013年1月

真宗大谷派
大谷婦人会通信
vol.2



大谷婦人会会長(門首夫人)

大谷 妙子

ご清祥に新年お迎えのこととお慶び申し上げます。

私たちの大谷婦人会は、真宗大谷派の聞法組織として新たなスタートを切りましたが、婦人としての聞法と相互の理解を深める婦人会活動が、全国的に広がり深まりますことを心から念じております。

また今年は、東本願寺を創建されました第十二代教如上人さまの四百回忌のご法要が厳修されますが、上人はご生涯を通して、如何なる縁によっても動揺も消滅もしない「金剛堅固の信心」に生きたらしたとつけたまわっております。

この一年、皆様と共に聞法に励ませていただきますと思っています。



真宗大谷派宗務総長

里雄 康意

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

真宗大谷派大谷婦人会員の皆様におかれましては、新年を迎え、ますます「聞法一路」にご精進のことと拝察いたします。

昨年十月に宗務総長に就任しました大垣教区の里雄康意と申します。私ども内局は、安原内局の宗務執行方針を継承し「信心獲得・僧伽形成」を常に念頭に置き、丁寧に議論を尽くして宗務の執行に取り組んでまいります所存です。

本年も貴会と連携を密にし、ともどもに本願念仏の教えを聞き開く「場の創造」に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。



大谷婦人会2012年度全国大会 2012年11月22日

現大谷ホールでの最後の法要・全国大会に四百名を超える会員が参詣しました。



真宗大谷派宗務所組織部長
藤田 哲史

昨夏六月二十九日付で組織部長を拝命いたし、十三年振りに組織部で宗務を担当することになりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、当時の大谷婦人会では、宗派との関係を緊密なものとするための規則の改正や、蓮如上人五百回御遠忌法要に取り組んでおられ、組織部担当者の一人としてお手伝いをさせていただいたことが懐かしく思い出されます。

時を経て、宗門が同朋会運動五十一年目という節目の年を迎えた今、当会では新体制の下、女性の間法組織としてのさらなる発展を期して、積極的な事業が計画されておりますので、組織部としてできる限りの協力をさせていただきます。

特に来年度には、当会のあらたな活動拠点（事務所）ともなる教化総合施設「真宗教化センター」建設工事の着工が予定されていることでもあります。会員の皆さまには、その完成・竣工を楽しみにしていただきながら、間法生活に一層ご精進いただきますよう念じ上げます。

全国の別院に婦人会組織（支部）を！

（別院支部設立大会（仮称）に向けて）

このたび、今春に厳修される教如上人四百回忌法要を機縁として、婦人会組織が未設置である別院に対し、大谷婦人会支部の設置に向けた取り組みを推進しています。

現在、別院において大谷婦人会支部の設置に向けた「門徒研修会」または「奉仕団上山」を計画した場合、宗派から今年度（六月末日まで）に限り十万円が助成されます。大谷婦人会としても、宗派の取り組みと連携して各別院に出向し、婦人会支部設立の願いや事業報告等を周知する説明会を開催しています。

さらに、二〇一三年四月一日から三日まで、このような取り組みを経て設立された別院支部とすでに活動を行っている別院支部を

中心に教如上人四百回忌法要記念奉仕団を結成します。また奉仕団退館後の四月三日、「別院支部設立大会」（仮称）を、支部長・役員研修会と併せて大谷ホールにおいて開催いたします。

今後とも別院の活性化、全国組織の婦人会が結成されることを願い取り組みを進めてまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

～奉仕団の基本日程～

	1日(月)	2日(火)	3日(水)
6:00		起床・洗面・清掃・参拝・朝食	
9:00		(記念写真撮影)	
9:30		班別活動(清掃奉仕)	班別活動
10:00			
11:00	入 館		
11:30	結成式	婦敬式受式	解散式
12:00	昼 食	昼 食	昼 食
13:00	両堂参拝	班別活動	退 館
13:30	親鸞聖人御誕生会(音楽法要)		
14:00	オリエンテーション	教如上人四百回忌法要初連夜(音楽法要)	
14:30			奉仕団終了後、大谷ホールにおいて支部長・役員研修会と併せて「別院支部設立大会(仮称)」を開催します。
15:00			
15:30			
16:00			
16:30			
17:00	夕事勤行(感話)夕食 班長連絡会		
17:30			
18:30	おはなし	おはなし	
19:00	はなしあい	はなしあい	
20:30		入 浴 就 寝	

○教如上人四百回忌法要記念奉仕団

東本願寺の境内を清掃し、真宗のおはなしを聞き、皆で語らいながら、春の法要・教如上人四百回忌法要に参拝いたします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

期 間 二〇一三年四月一日(月)～三日(水)

場 所 真宗本廟 同朋会館(東本願寺)

参加費 一五、〇〇〇円

募集人数 一〇〇人

申込方法 大谷婦人会事務局(〇七五―三七―一六八)まで申し込みください。専用申込用紙を送付いたします。

申込締切 二〇一三年二月二十五日(月)

○別院支部設立大会（仮称）

日 時 二〇一三年四月三日(水) 午後三時～五時三十分

場 所 大谷ホール

※詳細につきましては、追ってお知らせいたします。

行事報告

◎第65回東海・近畿間法会

期 日 9月3日～7日

場 所 岐阜県高山市

「ひだホテルプラザ」

一泊二日の日程で、東海・近畿地区の二一支部四四一名が三組に分かれて参加。前大谷中・高等学校長の真城義磨氏より「生活の間法」の講題のもと、法話を頂戴した。

法話終了後「代表者会議」が開かれ、新生「真宗大谷派大谷婦人会」としての二〇一二年度間法研修事業計画・予算が報告された。また夕食時は、趣向を凝らした会員の余興の数々に、大いに盛り上がった。



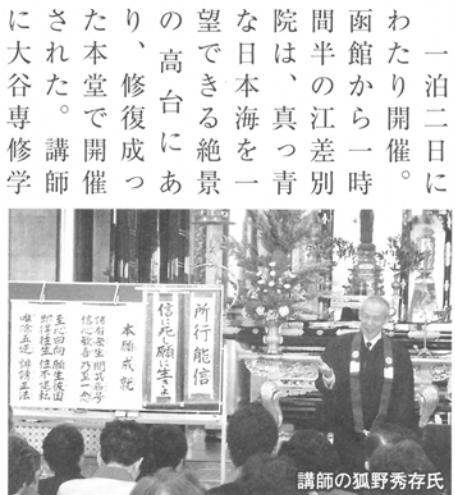
ホテル到着後、支部ごとの記念撮影の様子

◎二〇一二年度

北海道連合会 秋の研修会

期 日 9月26日～27日

場 所 北海道 江差別院



講師の狐野秀存氏

一泊二日にわたり開催。函館から一時間半の江差別院は、真つ青な日本海を一望できる絶景の高台にあり、修復成った本堂で開催された。講師に大谷専修学院院长狐野秀存氏を迎えた。三十五支部より三百六十名の参加。

◎小松教区大谷婦人会連絡協議会

報恩講

期 日 9月29日

場 所 石川県 小松教務所



小松教区全域から400名を超える参加者

報恩講のお勤めに続き、能登教区正誓寺前住職・佐々木伸磨氏を迎え、「老病を生きる」と題した法話を聴聞。四百名を超える参加者で、足を踏み入れる場もないほど満員となった会場は、氏の巧みなお話しぶりに終始

涙と笑いに包まれた。佐々木氏は、「寿命が長くなり、老人ばかりが増える。これは自然の成り行きにまかせるがよい。人間面しているが心の中は獣。聞いても聞いても地獄・煩惱具足・地獄一定、自覚をさせていただくことに感謝」と結ばれた。(北陸南部ブロック・山通信員)

◎大谷婦人会天融寺支部

支部創立百周年記念大会

期 日 11月1日

場 所 北海道恵庭市 天融寺

宗祖七百五十回御遠忌法要初連夜(音楽法要)に続き、支部創立百周年記念大会が催された。大正初めに創立。当時のご苦労を偲び現在までの長い歴史に思いを重ねて感激一入の様子。御堂はお念仏の声で満ち満ちていた。大谷妙子会長より支部への感謝状を宮本春美支部長へ、功労の方々に表彰状、感謝状が贈られた。法話は、真宗大谷派元宗務総長熊谷宗恵氏。御遠忌中のお接待、朝・昼・夕のお斎の準備はすべて会員の方々にされていた。今後の益々の活動に期待。



会長より支部への感謝状贈呈

大谷婦人会館・大谷ホール 建物改築について

大谷婦人会のシンボルとして長年の間親しまれてきました大谷婦人会館・大谷ホールが、本年六月末日をもって運営を終了することになりました。

今から五十二年前に会員のご懇念で建築された会館・ホールは、お陰さまで事故なく運営をさせていただきました。ホールは主に音楽会や講演会等に、会館は会議・研修会等や、宿泊施設として宗門内外から幅広い利用をいただきました。今後は、新しく宗派の「真宗教化センター」が建設されます。その中に会員が集う多目的ホール(五百人収容)や会長室が設置され、会館内のお内仏、お茶室、大壁画「釈尊父王に会い給うの図」等を移築すべく協議が進められています。

多目的ホールは、フラットの床面になる予定で使用用途が広がり、全国大会をはじめ、今まで以上に多岐にわたる行事を行うことが可能なスペースとなります。また、お茶室や会議室等が設置されることから、今後大谷婦人会の活動が、地域社会に開かれた婦人会の文化活動の拠点として機能することが期待されます。

会員皆様には、二〇一四年度中の竣工を楽しみにお待ちしております。

大谷婦人会2012年度全国大会 「さらなる聞法を～ありがとう大谷ホール～」

本年七月から「真宗教化センター」の建設工事が始まるため、現大谷ホールにおける最後の全国大会を開催。
音楽法要形式で全物故会員追弔法要・秋季永代経法要を厳修。



音楽法要

全国大会では大谷妙子会長が、先達の懇念によって建設されたこの大谷婦人会館・大谷ホールが、五十年以上にわ

たり聞法活動の拠点となってきたことに思いを馳せ「ありがとう」と感謝をする大会でありたい」と挨拶をされた。



熊谷宗恵元宗務総長

記念講演は、熊谷宗恵元宗務総長に四月の教如上人四百回忌法要に向けて「教如上人と東本願寺」と題しお話いただいた。

そして本会顧問でもある里雄康意宗務総長が、開かれた本会の活動の更なる充実に期待し、共に取り組んで行こうと呼びかけた。



里雄康意宗務総長



交流会へは二百五十名を超える会員が参加

全国大会後は、会場をホテルグランヴィア京都へ移し、「大谷妙子会長と夕食を共にする交流会」を開催した。



会員によるアトラクション

編集後記

新しい年を迎え、第二回目の通信「すみれ」をお届け出来すことに、編集委員一同ほっといたしております。
二〇一二年十一月二十二日、秋の大谷婦人会主催の全国大会に四百名を超える会員の皆様のご参加をいただき、最後の「大谷ホール」での集いが意義深い中にも無事に終わられましたことに心から感謝いたしております。
この思いを、全国の各別院を有する教区の関係の皆様は大谷婦人会組織、結成促進へと呼びかけながら聞法の間を駆けつ、全国的な婦人会のネットワークにより会員の増強へと交友をつなげてゆき、この会が益々発展できますように、お力添えをお願い申し上げます。
皆様方のご健勝を心より念じあげ、今後共編集委員一同精進してまいります。
(佐々木)

ご案内

大谷婦人会法話シリーズNo.14発行(毎年12月発行)

昨年の北陸聞法会における、大谷大学名誉教授沙加戸弘氏によるご法話「宗祖 親鸞聖人」に加筆いただきました。一部百三十円。百部以上を一箇所に送付の場合は送料無料です。下記までお申込み下されば、お送りさせていただきます。

二月の定例法話会(新年初会)

日時 1月10日(木)午前11時
会場 大谷婦人会館3階仏間
講師 真宗大谷派参務
岩坂 賢龍氏

聴講無料。どなたでもお参りいただけます。法話聴講後、京都地区の互礼会を開きます。

第66回北陸聞法会

期間 全6組 各1泊2日

前期 5月20日(月)～24日(金)
後期 6月17日(月)～21日(金)

会場 石川県「ゆのくに天祥」

詳細は花すみれ等にてご案内いたします。